



福島県白河市

〒961-0054

白河市北中川原313番地

担当課：健康増進課

TEL：0248-27-2114

Email：

kenkozoshin@citv.shirakawa.fukushima.io

本市のデータ

(1)面積 305.32km²

(2)人口

H22国調	H27国調	R1.9月1日現在
64,704	61,913	59,758

(3)世帯数

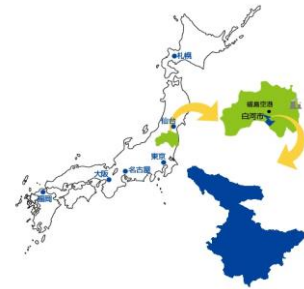
H22国調	H27国調	R1.9月1日現在
22,726	23,004	23,372

(4)沿革

昭和24年(1949)白河町、大沼村が合併して白河市制を施行。平成17年(2005)には「平成の大合併」により白河市、表郷村、大信村、東村が合併し、新しい「白河市」が誕生。

(5)産業構造

区分	H22国調	H27国調
	就業人口(人) 割合(%)	就業人口(人) 割合(%)
1次	2050 6.7	1950 6.4
2次	11301 36.8	11120 36.4
3次	16307 53.1	16450 53.9
計	30689	30526



本市の概要

白河市は、那須連峰を望む福島県の南部中央に位置し、市の中心部から県都福島市まで約90キロメートル、都心までは約185キロメートルの距離にあります。市域は、東西に約30キロメートル、南北に約30キロメートルに広がり、総面積は305.32平方キロメートルとなっており、約半分を山林が占めています。

白河市には、古代より歌枕として名高い『白河関跡』をはじめ、白河藩主松平定信が「士民共楽」の地として構築した日本最古の公園といわれる『南湖公園』、南北朝期に結城親朝により築かれたのがはじまりとされる『小峰城』など、豊かな自然や多くの歴史的・文化的遺産が現代へと受け継がれています。

白河市は奥州の三大関所の一つとして古くから交通の要所として発展してきました。現在はみちのくの玄関口として東北自動車道や東北新幹線などの高速交通体系に加え、産業集積等による地域の活性化が図られるとともに都市機能が高まっています。



白河の関



小峰城



南湖公園



白河だるま



白河ラーメン

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

平成31年3月「～第2次～いきいき健康しらかわ21」白河市健康増進計画・自殺対策計画を策定。
計画の目標にあわせて、各関係機関と連携を図りながら、自殺予防対策に取り組んでいる。

<具体的な取組み>

基本施策

- 1 地域におけるネットワークの強化
 - ・白河市自殺対策庁内連携会議の開催
 - ・消費生活対策
 - ・しらかわ地域自立支援協議会の開催
 - ・地域ケア会議
 - ・要保護児童対策地域協議会
 - ・スクールカウンセラー活用事業
- 2 自殺対策を支える人材育成
 - ・職員を対象としたゲートキーパー養成講座の開催
 - ・一般市民や各種団体を対象としたゲートキーパー養成講座の開催
- 3 市民への啓発と周知
 - ・DV等支援措置情報の提供
 - ・こころの健康講演会の開催
 - ・心の相談カードの作成・配布
- 4 生きることの促進要因への支援
 - ・高齢者サロンの活用
 - ・認知症カフェの実施
 - ・高齢者居場所づくり事業
 - ・子どもの居場所づくり支援事業
 - ・シルバー人材センター事業
 - ・不登校児童生徒適応指導教室事業
- 5 児童生徒のSOSの出し方に関する教育
 - ・命の教育

重点施策

- 1 高齢者への対策
- 2 生活困窮者・無職者・空業者への対策
 - ・関係部署と連携を図るためのツールの作成・活用を検討していく

包括的自殺対策関連事業

自殺対策関連事業として、関連する機関の連携を促進し、多分野における包括的な支援を行う。